

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 野村紀代彦
幹事 山下雅則
会報委員長 藤井邦彦

2021～2022年度 国際ロータリー シェカール・メータ 会長テーマ

Serve to Change Lives 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3145回例会プログラム

[当年度=22回目；当月=2週目]

2022年（令和4年）2月14日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食 事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘 ……〈会 長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 会長挨拶並びに会長報告
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. 委員会報告
10. ニコニコボックス報告
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(2/19) ……
西三河分区インターシティ・ミーティング(IM)
式典 14:20～14:50
講演 15:00～16:45
※ YouTube ライブにて配信
※ 2月21日(月)の例会変更分です。
(2/28) ……
新会員アワー 杉浦 守康 会員
" 江口 淳一 会員
- 13:00 12. 本日のプログラム
卓話「南海トラフ巨大地震に備える」
講師 地区防災対策委員会
委員 成田 孝則 様
(安城 RC)
(紹介者 寺田 博正 会員)
13. 謝辞
14. 点 鐘……〈会 長〉
15. 閉会宣言
13:30 16. 散 会

出席

会員総数 100名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠 席 14名 出席率 83.9%
前々回（1/24）の修正出席率 100%

幹事報告

- 1) 2/19(土)の西三河分区インターシティミーティングはYouTube ライブ配信に変更になっておりますが、当日のレジュメを本日配布させて頂きました。ご確認をよろしくお願い致します。

委員会報告

●雑誌委員会

- 1) 今月の表紙のタイトルは『窮鼠猫を噛む』です。毎回、絵とタイトルの微妙なズレを楽しみにしています。今回の表紙は今月の月間目標とはすごく一致しており感心しました。窮鼠猫を噛むは、追い込まれたネズミの生きるためにとてつもない力を発揮するネズミの視点ですが、猫も生きるためにネズミを食べなければならない。どちらが悪で、どちらが正義でもなく、お互いに生きるための行動です。戦争も正義と正義の戦いでどちらが悪いわけでもないと思いますが戦争は無い方が良いと思います。お互いを尊重し理解し合うことが平和への道だと思います。さて、今月は平和構築と紛争予防月間です。横組みの記事では、青少年交換留学による平和構築、その参加者の感想。若い頃から世界を見て歩くことは、知らない文化や考え方を知る上でとても大切なことだと思いました。第一回ロータリークラブ青少年交換学生1962年に初めてオーストラリアに交換留学に行かれた関本洋子さんによって痛ましい戦争の後から、日本を理解してもらった親善大使として平和への架け橋となった素晴らしい記事です。多様性を知り、受け入れる事が平和実現の第一歩だと感じました。縦組みの記事では、秋田東ロータリークラブの岩瀬浩介さんのサッカーへの情熱が溢れる記事で大変

興味深く親近感を持てる内容でした。当クラブでもFC刈谷の運営に尽力を尽くしている下谷さんや、神野さんを見ているようで、夢のある記事です。

現在、冬季オリンピックが北京で開催されていますが、スポーツを通じて真の平和が来ることを願います。

会長あいさつ

野村紀代彦



本年度の地区テーマはコロナゼロとともにカーボンゼロとなっており国際ロータリーでも環境が重点項目になりました。環境問題については古くから重要な問題とされてきています、1997年に日本で行われた国際会議で採択された京都議定書、2007年アメリカの副大統領だったゴアさんが「不都合な真実」を発表、その後、映画にもなり南極の氷が解けて崩壊する様子や強大なハリケーンが民家を破壊する様子、大規模な山林火災など画像などをみて驚いた記憶があります。2019年9月に開かれた国連気候行動サミットで16歳のグレタ・トゥーンベリさんという少女が気候危機対策より経済対策を優先する各国のリーダーたちを激しく批判したのは有名です。

日本は他の先進国を比べて環境問題に対する危機意識が低いといわれることがあります。それは気候変動に関する報道の質・量が欧米に比べて低いということ、日本では今も地球温暖化という言葉が広く使われていますが、ほかの先進国では気候変動という言葉や最近ではClimate Crisis（気候危機）という言葉が多く使われているようです。日本では現在の危機的状況を伝えるような報道がまだ少ないですが、海外ではセンセーショナルな研究結果も積極的に継続して報道されているようです。東日本大震災の後、原子力発電が止まって火力発電が主になっていることもあります。2021年10月イギリスのグラスゴーで開催されたCOP26では日本は温暖化対策に後ろ向きな国に与えられる「化石賞」という不名誉な賞を受賞しています。一昨年発売された「人新世の資本論」を読まれた方も多いと思います。著者は1987年生まれ35歳の斎藤幸平氏です。人新世とは人類の経済活動が地球の表面を覆いつくした年代、つまり人工物が地表を埋め尽くし海にはマイクロプラスチックがただよい大気中には温暖化効果ガスの二酸化炭素、メタンが増え続けている状態のことをいっています。経済発展を続けながら一方で技術革新によって環境負荷を減少させていく、それをデカップリングと表現しそれは幻想だといっていますしSDGsも根本的な解決にはならず危機は深まる「SDGsは大衆のアヘン」と揶揄しています。ではどうすればいいのかという段になるとマルクス論が出てきて社会主義、共産主義の話や経済成長を進める資本主義を否定し脱成長が必要だという結論になってきます。このような本がベストセラーになって多くの人が手に取っている現状は、環

(2)

境問題についてシビアに考えている方が多いということでしょう、内容はかなりドラスティックで実現困難とも考えられますが、もし実現しなければ地球は本当に終わってしまうのか？とも考えさせられる本ではありました。

卓 話

南海トラフ巨大地震に備える

地区防災委員会委員 成田 孝則 様



2021-2022年度 RI 第2760地区防災対策委員会

〈防災対策委員会のこれまでの経緯〉

・2017-2018年、神野ガバナー年度に愛知県防災部と国際ロータリー2760地区が相互協力に関する協定を締結

- ・2020年4月 愛知県防災部訪問・相互協力の確認
- ・2020-2021年度、地区に防災対策委員会を新設（準備年度として活動）
- ・2021-2022年度、委員の構成を8分区に拡大し具体的な取り組みを実施

〈地震から身を守る〉

地震による大きな揺れを感じた時（揺れを感じる前でも）緊急地震速報を見聞きした時は、あわてずに、まず身の安全を確保する行動をとる。

※津波から避難する場合も、まず地震から身を守る事が先です。

〈津波から身を守る〉

津波の性質を正しく知って、避難のしかたを知ることが大事です。

基本中の基本は、「すぐ避難する」「より高い所へ避難する」。

津波はものすごいスピードと破壊力でやってきて、どんどん陸地を駆け上がります。だから、すぐに避難。避難して「ここなら安心」と思わず、さらに高い場所を目指しましょう。

ただし、地震の揺れが大きい時は危ないので揺れが収まってから冷静に行動しましょう。

〈避難開始のタイミング〉

地震の揺れが収まって、周囲の安全を確保した後、津波の襲来を直感して、直ちにより高い場所を目指して避難をするというのが望ましい行動です。

津波警報を待つ必要はありません。震源が陸地に近いと、警報を聞いてからでは津波の襲来に間に合わないこともあります。

緊急地震速報や地震発生時に大きく揺れている時に動き出すのはかえって危険です。まずは、転倒や周囲の危険物から身の安全を確保する行動が必要です。

〈委員会の目指すところ〉

危機意識の共有の為に

- ①過去を知り現在を知る
- ②この先「起こること」を知る
- ③その時「どうするか」を知る

最も大切なことは…「正常性バイアス」から抜け出すこと。

〈その時「どうするか」〉

- ・地震に備える＝先ず命を守る（建物の倒壊リスクの診断・家具や備品の固定・非常用持ち出し品の準備）
- ・津波に備える＝避難場所・避難経路の確認・代替避難場所の確認
- ・最初に行動する・声を上げる・避難する・誘導する人になれること。
- ・火災に備える（火元の処理・電源の遮断）

〈具体的な提案です〉

- ・すでに準備されている防災用品の再確認（設置場所・数量・食品等の有効期限）
- ・ハザードマップの入手と避難経路の確認（各自治体が発行しています。是非手に入れて経路を歩いてみて下さい）
- ・地震防災ハンドブック（持ち歩き用・常時携帯して活用して下さい）
- ・171伝言ダイヤル（スマホ・携帯が繋がらない時、日頃から家族と共有しておきましょう）

〈ロータリークラブ会員として〉

- ・発災時の会員間の安否確認（方法・連絡経路）と愛知県防災部との連携と情報の共有
- ・被災した会員企業の早期再開への備え
- ・皆さんなかなか自分のこととして考えられません。しかし必ず大規模地震は起きます。正しく恐れましょう！

